

ブロック役員研修会

日時：信越地区 3月13日(土)
北陸地区 3月14日(日)

総本部より仲部長、土田全国代表者会議議長、各地区親支部先生方をお招きし、充実した研修会となりました。午前中は、仲部長、土田議長から「お家元指導方針の推進」についての方策というテーマでお話いただき、食事をしながら、午後にかけて各役職に分かれ、分科会を行いました。現在青年部で一番問題になっている会員減少に関する事を中心に活発な意見が交換されました。

善光寺平青年部 伊藤 公績

七尾青年部 山岸 外枝

ワークバル上越での研修会に私たち中信青年部は4名参加しました。各青年部の様子を聞いて、自分たちの抱えている悩みと同じ悩み、あるいは全く自分たちには経験のないことを知る事が出来ました。その中で各青年部がいろいろ頑張っていることが実感されました。

仲総本部青年部部長のお話では、これからの向かうべき方向性を再認識し、土田全国代表者会議議長のお話からこれからの活動について検討する材料を与えていただき大変有意義な一日となりました。



突然の訃報に悲しみもさめやらぬ中、総本部より仲部長にお越しいただき、お話を伺いました。うさぎとかめの話を例にあげ、以外に気づかれていない茶道の本質をさりげなく教えていただきました。

続いて、全国代表者会議議長の土田さんのお話では、リーダーとしての自覚を高めなければならないとの指摘を受け、背筋ののびる思いで、「主人公」の教えを肝に銘じました。

各役員別の分科会では、主に登録会員の問題と合同行事について話し合いました。合同行事には二つの意義があり、一つは支部、青年部、学茶の合同行事であり、もう一つは青年部連絡会による合同行事です。どちらの合同行事も推進しながら、親支部とのほうれんそう(報告・連絡・相談)を密にすることが登録会員増強につながるのだと理解しました。

「お家元は、奥様というかけがえのない片方の翼をなくされ、大変悲しんでおられます。僕たち青年部全員で、お家元の片方の翼になることはできないだろうか。」副ブロック長の大樋さんの言葉がとて印象に残りました。

分科会報告

部長分科会

- 青年部内の活動だけでなく、ブロックや親支部等のコミュニケーションをとることも大切である。
- 新青年部となってから会員の減少が問題になっている。
- 委員長の間でも、このような会をもうけたほうがよいと思います。
- 会員減少の昨年、会員増強を重点にお話し合いは意義があると思う。

副部長分科会

- 副部長は、特に委員長をとりまとめることが大切ではないか。
- 部長は、ブロック等いろいろとつながりがあるため、副部長は青年部内の連絡調整する必要があります。

総括幹事分科会

- 総括は、青年部内の実務面をおこなうことが仕事だが、あらゆる関係のパイプ役となる。
- もっと他の青年部とのつながりを深め、話し合いの場があってもいいと思う。
- 部長の出した基本方針を青年部の活動にむすびつけれるように進めていく。
- 楽しいと思わなければ続かない。苦勞しても思い出に残ると思います。

運営幹事分科会

- このような場で、同じ役についている皆さんとお話しできることはとてもいいことだと思います。
- 運営は委員長と共に新しい企画を計画する場であると思います。
- 各委員会の行事内容をチェックし、無理のない行事をやるように指導するのも運営の仕事ではないか。



★ 行事予定

9月3、4日 全国代表者会議

★ 編集後記

組織図を見て少しはブロックのことを理解していただけたでしょうか。まずは自分の支部、そしてブロックへと幅広く目を向けて下さい。年3回の発行予定でブロック、ブロック内青年部の情報をどんどん載せていきますので、青年部活動に役立てて下さい。お楽しみに****。いろいろな情報も待ってます!!

北陸信越ブロック ちゃばたけ通信 ■1999年 夏季号



Tea Field

発行(社) 茶道裏千家淡交会青年部 北陸信越ブロック事務局

去る3月9日にご逝去されましたお家元夫人、千登三子様のご冥福を心からお祈り申し上げます。

ごあいさつ

北陸信越ブロック長 (全国委員) 戸谷 全 邦

第三十二回ブロック会員大会が、巖気楼の浮かぶ海と立山の山懐に抱かれた魚津に於いて魚津支部・うおづ青年部の協力により本日開催することができましたことを、会員の皆様に深く感謝申し上げます。

今、ブロック内は、二十九青年部となり、活動の場や交流の場が昔に比べて狭くなってきているように思います。ですから、ブロック内青年部が一同に集うブロック会員大会の重要性が一層増していると思います。ご参加いただいた皆様は、是非一人でも多くの他青年部の方と語っていただきたいです。その為にうおづ青年部の皆様が、グループ分けなどいろいろアイデアを凝らしていただいたことに感謝申し上げます。

二十一世紀を目前にひかえて、新青年部の体制も定着しました。お互いに顔が見える青年部として、それぞれの地域で活動をしています。しかしながら人数が少ないために、ダイナミックな活動や広い視野での考え方ができにくくなってきたのも事実です。その点を解消するためには、現在ある連絡会をより有効に活用し、単位青年部ではできにくい行事や今度迎え入れる事になった登録会員に対して幅広い啓蒙活動を行っていただきたいと思っています。そうして一人でも多く正会員に加入していただき、2000年に予定されている青年部五十周年第十二回全国大会を成功させ、二十一世紀にお茶の心を伝えていこうではありませんか。

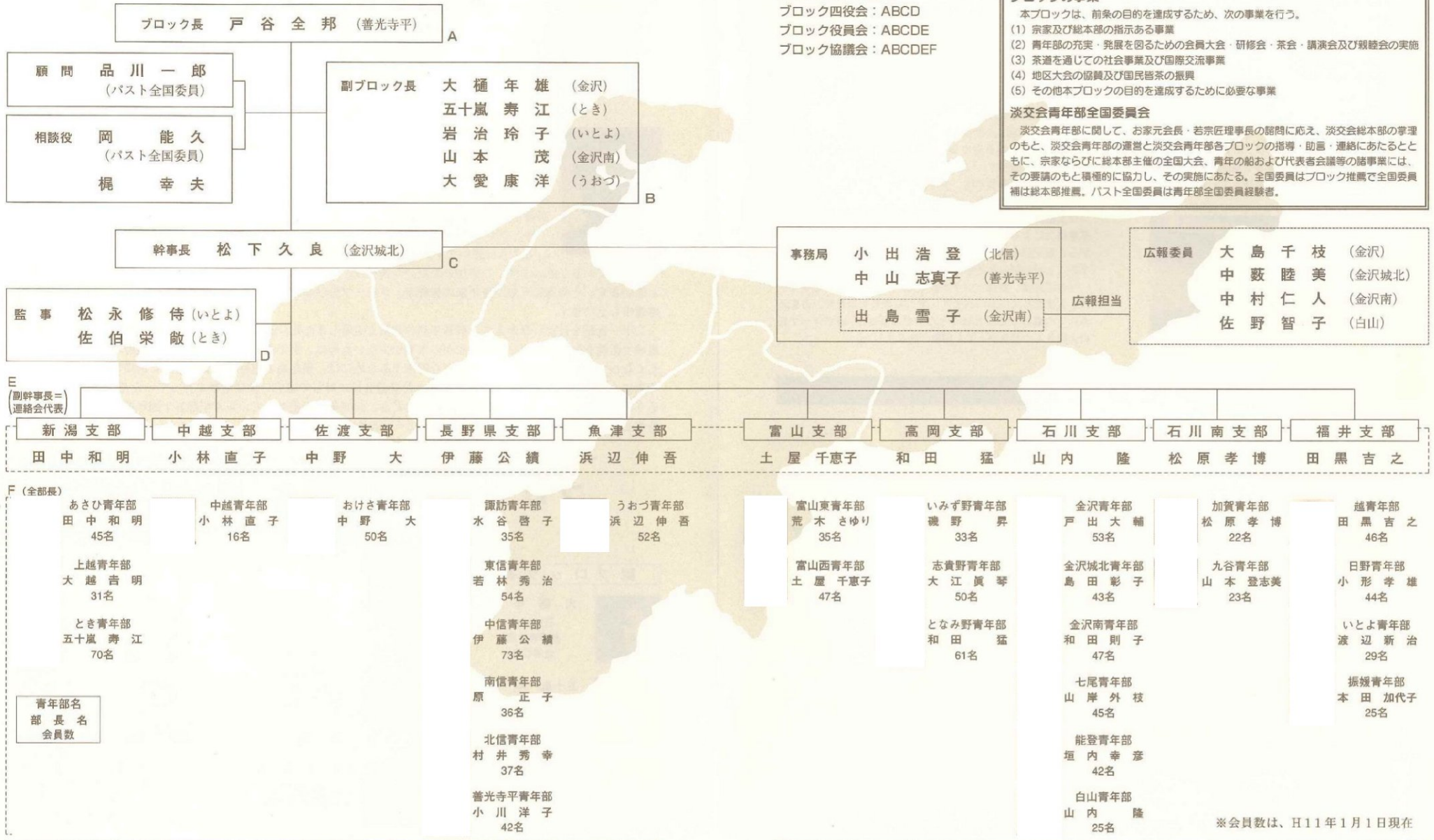
ブロック新役員紹介 平成11、12年度

(新ブロック長をこのメンバーがサポートします)

副ブロック長	山本 茂 石川支部 金沢南青年部	監事
大樋 年雄 石川支部 金沢青年部 (全国委員)	大愛 康洋 魚津支部 うおづ青年部 (バスト全国委員)	松永 修侍 福井支部 いとよ青年部 (バスト全国委員)
五十嵐 寿江 新潟支部 とき青年部 (全国委員補)	幹事長	佐伯 栄敏 新潟支部 とき青年部 (バスト全国委員)
岩治 玲子 福井支部 いとよ青年部 (全国委員補)	松下 久良 石川支部 金沢城北青年部	



北陸信越ブロック青年部組織図



ブロックの目的
本ブロックは、淡交会の目的及び事業の精神を体し、宗家・総本部の指導に基づき、ブロック内各青年部の均衡・ブロック内会員の連絡・親睦・友愛を深めるとともに青年部リーダーの育成を目的とする。

ブロックの事業
本ブロックは、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
(1) 宗家及び総本部の指示ある事業
(2) 青年部の充実・発展を図るための会員大会・研修会・茶会・講演会及び親睦会の実施
(3) 茶道を通じての社会事業及び国際交流事業
(4) 地区大会の協賛及び国民皆茶の振興
(5) その他本ブロックの目的を達成するために必要な事業

淡交会青年部全国委員会
淡交会青年部に関して、お家元会長・若宗匠理事長の諮問に応え、淡交会総本部の掌理のもと、淡交会青年部の運営と淡交会青年部各ブロックの指導・助言・連絡にあたり、宗家ならびに総本部主催の全国大会、青年の船および代表者会議等の諸事業には、その要請のもと積極的に協力し、その実施にあたる。全国委員はブロック推薦で全国委員補は総本部推薦。バスト全国委員は青年部全国委員経験者。

会議出席者構成
ブロック四役会：ABCD
ブロック役員会：ABCDE
ブロック協議会：ABCDEF